

## 2 . 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム福山の里  
 作成日 平成 22年 6月 14日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	目標を定めていないので基本理念を元に職員全員で年間の目標を定め理念の共有と実践に取り組めるようにする。	「一人一喜の発表」 一人の人として介護していく。	基本的な事ではあるが一人の人を問題のある方という視点で見えていくのではなく、一人の人と生活を共にしていく事を意識づける為、朝礼時に入居者の問題点についてだけ情報を共有するのではなく、近日にあった微笑ましいエピソード等を職員一人1件づつ話をする。	1年間
2	12	看取りに関して指針は作成しているが、事業所の力量や体制が重度化や終末期を支えていけるかが現在において定かではない。	本人や家族、職員が重度化や終末期に関して安心して支援できるように現在の支援状況を明確化する。	職員会議で現在の状況（職員体制等）の確認を行い、現在どこまでケアできるかについての話し合いを行った。今後はその結果を家族や本人に伝えていく。体制などが変わった場合は再度話し合いを行っていく。	2ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。